

第15回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年3月27日(火) 11時00分～11時54分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 5名

■出席委員(敬称略)

茅原剛	会長	(栃木市総合政策部長)
高崎尚之	委員	(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)
増山政廣	委員	(栃木市消防本部消防長)
堀江貴浩	委員	(栃木青年会議所理事長)
大橋良久	委員	(下野農業協同組合企画総務部長)

■放送事業者側出席者

高田光浩	(ケーブルテレビ株式会社 代表取締役)
村上正子	(ケーブルテレビ株式会社 取締役)
木村嘉孝	(コンテンツ部課長)
清水研児	(コンテンツ部FMグループ係長)
世取山大輔	(コンテンツ部FMグループ)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。また栃木警察署長の寺崎委員と栃木市消防本部消防長の増山委員が、役職退任のため審議委員を辞すことになり、これを了承した。

5. 議事

①2月3日(土) 15時放送「神明宮の節分祭」約10分

(事務局)2月3日の節分に合わせて、栃木市旭町にある神明宮で行われた「節分祭」の様子をレポートした。境内に設置した舞台に上らせてもらい、神社の関係者と豆まきをする人へインタビューし、現場の賑わ

いと、地元の季節の行事についてお伝えした。

(委員) 賑やかな子どもたちへのインタビューがあつて良かった。

(委員) 「福」が付いたものを多く取り上げていて、縁起が良いと感じた。「神明宮」の説明があればさらに良かった。豆の代わりにお菓子やミカンなどをまくという紹介も良かった。

(委員) タイムリーな話題だった。臨場感があつたが「この節分祭がいつごろ始まったのか」など歴史を紹介できれば内容が濃くなったのではないか。駐車場の有無、どんな人が豆をまくのか、「豆まき」「福まき」などの違いを教えて欲しかった。

(事務局) インタビューの必要性、現場での取材力、聞き取り力、レポート力などの向上のため、パーソナリティを指導していきたい。

②3月9日(金)17時放送「館林市観光協会様、つつじまつりPR」約20分

(事務局) 4/10～5/10に開催される「つつじまつり」のPRに、群馬県から館林市観光協会関係者とミス館林フラワーレディの方が出演した。栃木市外の情報だが、気軽に出掛けられる距離にあること、またスタジオ出演のコマーシャル契約をいただいていた番組出演となった。

(委員) 2人のパーソナリティがとても盛り上がっていて良かった。フラワーレディの方の話が後半にもあればと思ったため、バランスよくゲストに話してもらえる工夫を。交通情報など、お祭りのポイントなどもあったらさらに良かった。導入で「どうして館林のPRを行っているのか」を明確にすべき。

(委員) 他県・他市の情報が聴けるのは良かったし、これが架け橋になって互いにPRできたら良い。館林の方も聴いているかもしれないので、栃木市の良い所や栃木市のつつじの情報も組み入れたら良かった。

(委員) 「4月5月で違うつつじが咲く」など初めて知った。

(事務局) 有料のゲストといえども、常にリスナーが聴きやすい放送をしたい。演出、構成に関しても注意して臨みたい。

③その他

(委員) 今年度最後の放送番組審議会ということだが、この1年「これがコミュニティ放送だ」と実感した。良い番組が多くなっていて、さらに番組を充実させて、市民から愛される放送局になってほしい。

6. 審議機関の答申又は概要の公表

FMくらら857ホームページに掲載(平成30年3月掲載)

■次回の日程開催

5月29日（火） 午前11時予定

以上